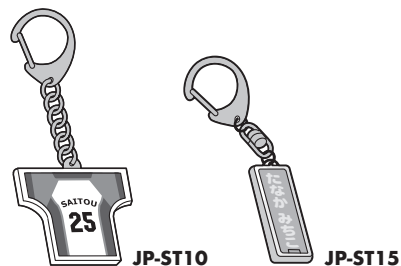


6 できあがり!



使用上の注意

- 用紙をパッケージから取り出すときは、ゆっくりとこすらないように取り出してください。強く引き出すと、光沢面にキズがつくことがあります。
- 対応プリンター、使用方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、弊社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。
- ご使用前に本製品の取扱説明書をよく読みの上、正しくご使用ください。
- 印刷面をこすったり、傷をつけたり、折り曲げたりしないでください。
- 万年筆や水性ペンで書くことにはご注意ください。ご確認の上ご使用ください。
- 用紙が丸くカールしないよう取り扱ってください。万が一カールしたら、必ずカールを直してから使用してください。そのとき、用紙がミシン目で切れないようご注意ください。ミシン目で用紙が切れているとき、その用紙は使わないでください。
- 水濡れや直射日光・経年変化により、印刷部分が変色することがあります。
- プリンターの種類、プリンターの印刷モード、インク、ドライパンフなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。
- この製品は個人で楽しむことを目的とする製品です。商業目的ではご使用にならないでください。
- 開封後はなるべく早くにお使いください。
- コピー機、レーザープリンター、ドットプリンター、熱転写プリンターなどインクジェットプリンター以外では使用できません。

保管上の注意

- 使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかからないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置いたしますと、反りが発生したりする可能性があります。
- 高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。
- 開け切った車内やトラックなど、高温になる条件での保管は避けてください。
- 開封後はなるべく早くにお使いください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 素材をなめたり、口に入れたりしないでください。

サンワサプライ株式会社
<https://www.sanwa.co.jp/>
BI/AI/YHDn



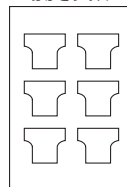
JP-ST10・15

インクジェット用 手作りキーホルダーキット

この度は、サンワサプライのインクジェット用手作りキーホルダーキットをご購入いただき、誠にありがとうございます。
この製品はインクジェットプリンターで専用紙に好きな写真やイラストを印刷して、キーホルダーを作ることのできるキットです。
正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

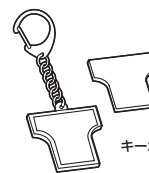
準備するもの

はがきサイズ



専用紙
(写真印刷紙タイプ)

×1シート



キーホルダーパーツ

JP-ST10 3組 JP-ST15 2セット

セット内容
専用紙
キーホルダーパーツ
取扱説明書(本書)

使用方法

1 デザインをします。

対応ソフトまたはダウンロードしたテンプレートを使って、あらかじめデザインをします。
その後、専用紙の表面に印刷します。

パッケージに持っているイラストの他、かわいいイラスト、テンプレートがサンワサプライのサイトよりダウンロードできます。最新の情報やテンプレート、自由に使える素材のダウンロードについては、
用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」<https://paperm.jp/>または、<https://www.sanwa.co.jp/>へgo!

<用紙設定について>

対応ソフトの「用紙選択」の画面で、
「サンワサプライ JP-ST10(Tシャツ型)」、「JP-ST15(スティック型)」を選んでください。
※特別なソフトがない場合は、無償でWordなどで使えるテンプレートがダウンロードできます。
詳しくは、上記サイト「ペーパーミュージアム」の「テンプレート」コーナーをご覧ください。

<用紙微調整>

専用紙に印刷する前に付属のテストプリント用紙でテスト印刷をして印刷位置の確認をしてください。
(テストプリント用紙は必要に応じてコピーしてお使いください)
なお、プリンターの使用頻度・使用環境などにより、まれにテストプリント用紙で位置を合わせても本番の用紙で多少ズレが生じることがあります。その際は、プリンター内部の掃除をお試しください。
また、多少印刷がズレても良いよう、シールギリギリのデザインをされないことをおすすめします。

続きは、次ページをご覧ください。➡

2 印刷をします。

<プリンターについて>

この用紙が使えるのは、下記のプリンターです。

おすすめプリンター | エプソン EP-PX・PM・CCシリーズ、MJシリーズ
キヤノン PIXUS MG・MX・iPシリーズ

※顔料系インクを使用した場合、黒など濃度の高い色のベタ部分で油状の光沢感が出る場合があります。また、印刷直後に印刷した部分(特に黒など色の濃い部分)をさわると、印刷内容がこすれたりはがれたりする恐れがあります。十分に乾燥させてください。

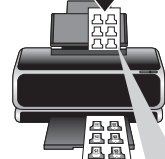
機種によっては印字部分の光沢感が若干損なわれることがあります。
※フォトブラックインクとマットブラックインクの切替えができる機種は、フォトブラックインクを使用してください。
マットブラックインクは使用できません。

<印刷について>

- 1) 用紙サイズを必ず「はがきサイズ(100×148mm)」にしてください。
- 2) 光沢のある面が表面で印刷面となります。印刷面がプリンターのノズル側にくるように用紙をセットしてください。(下図参照)
- 3) この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。給紙されにくい時は、用紙の後ろにはがきサイズの堅めの台紙を置いてください。
- 4) 使用するプリンターの機種によりわずかに濃淡の差があることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンター各機種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度を調節してください。
- 5) 下記の用紙設定に従い、印刷します。

上から給紙される機種

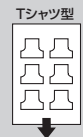
下から給紙される機種



※裏表を間違えないようにプリンターにセットしてください。
Tシャツ型は上下方向があるので、差込む方向に注意してください。

印刷面を上にして差込んでください。

印刷面を下にして差込んでください。



ご注意

黒や濃い色を多く使って印刷するとき、プリンターによってはローラーのあとがつかうことがあります。

<用紙設定・モード設定(例)>

印刷の際には下記の設定でご利用いただくことで良好な画像を得ることができます。

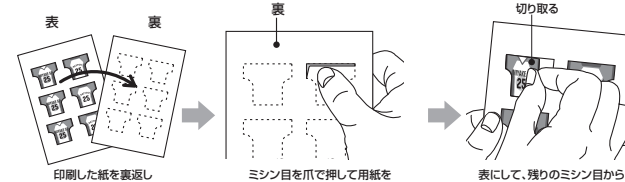
プリンター	用紙設定	印刷モード
エプソン	EPSON写真用紙	きれい
キヤノン	写真用紙 光沢	きれい

※カセット給紙には対応していません。(オートシートフィーダーでご使用ください)

ご注意

印刷直後は、印刷面にはふれないようにして、インクを充分乾燥させてください。(10分以上)

3 用紙を切抜きます。

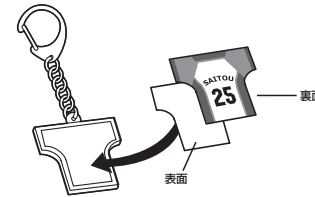


ご注意

- 勢いをつけすぎると、用紙の端の印刷部分が欠落したり破れたりすることがあります。ゆっくり切り取ってください。
- 表面からミシン目を爪で押して切り取ると、印刷部分に傷がつくことがあります。

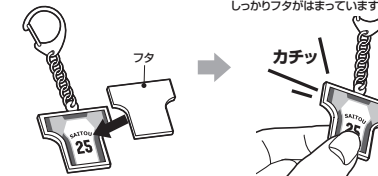
4 透明のプラケースの中に 3 で切り取った用紙をはめこみます。

印刷面が見えるように、表・裏の2枚切り取った用紙をプラケースにはめこみます。



5 ケースにフタをはめます。

- ① フタを 4 のケースにはめます。
- ② ギュッと押さえてフタをはめこみます。「ギョウカカチツ」など音がしたらしっかりフタがはまっています。



ご注意



上にくる表はフックと丸みがあり、下にくる裏は平らです。逆にすると、うまくフタをはめこめません。



Tシャツ型のフタの表・裏が少し分りにくいです。横にして、断面を見て平らな面(裏)を下にしてフタをしてください。

フタを外したいとき

フタの一番下にくぼみがあります。ここに小型の(マイナス)ドライバーなど先のとがったものを差し込んで、フタをはずしてください。力がかなりかかるので、ケガをしないよう充分に気をつけてください。またフタをはずす時、中の用紙・ケースに傷がつくことがありますので、ご注意ください。

ご注意

一度ケースにフタをしっかりはめると、フタは取外しにくくなります。

